

平成 28 年度 第 2 回軽米町総合教育会議 議事録

1 日時 平成 29 年 1 月 23 日（月） 午前 11 時から

2 会場 軽米町役場 2 階第 1 会議室

3 出席者

（構成員） 山 本 賢 一 町長
菅 波 俊 美 教育長
戸草内 勝 夫 教育長職務代理者
兼 田 寿 教育委員
関 向 玲 子 教育委員
田 端 守 教育委員
（事務局） 佐々木 久 教育委員会事務局次長
大清水 一 敬 同 次長補佐
工 藤 薫 同 教育総務グループ長
八ツ役 真司 同 指導主事

4 あいさつ〈町長〉

先ごろ今年度の学力調査の結果について詳しい説明を受けた。学力向上に向けた対策について、ある程度の成果が表れてきていると思われる。これまで町では、学力向上支援員の配置、学習会の開催等の多くの施策を行ってきたが、今後も皆様の意見を聞きながら、児童生徒の学力向上を図るための予算を確保して参りたい。

また、重要なことは、現場の先生方の授業力や意識の向上と家庭における学習時間の確保など P T A 一体となった具体的な取り組みを進めて行くことだと考える。

先般、8 月の台風 10 号関連の防災会議の中で国の職員も出席して説明を受けた。

最終的には役場を含めて、町民全体の防災への意識改革が大切であると感じている。学力向上策についても同様で、子どもを含めてみんなの意識を変えていくことが必要と思っている。

5 協議事項

- (1) 軽米町における学力向上対策について
- (2) 軽米町立学校の I C T 機器とデジタル教材の整備活用事例
- (3) 意見交換

6 協議内容

(1) 軽米町における学力向上対策について【教育長 菅波俊美】

1. 授業力の向上・指導力の向上

- ・ 教員研修の充実
- ・ 学力向上支援員の配置
- ・ 学力向上対策検討会議の開催
- ・ その他（小中学校学習会の開催等）

2. 学力向上対策の実践

- ・ 英語教育推進事業
- ・ ICT活用教育推進事業

(2) 軽米町立学校のICT機器とデジタル教材の整備活用事例

【指導主事 八ツ役 真司】

- ・ 情報教育対応教員研修全国セミナーにおける発表
（平成28年7月27日盛岡市アイーナに於いて開催）

(3) 意見交換

〈町長〉 大槌町の大槌学園もICT機器の活用を進めているとのことだが、小中一貫校であると聞いている。ICT機器の活用における小中一貫校の効果、メリットについて聞きたい。

→指導主事 大槌学園は開校1年目なので、これから実績が表れて来るものと思うが、小学校6年から中学校1年への連続性があるので、有効に活用できるものと思う。

〈町長〉 県内では学校によりICT機器の整備状況が違ふことで、転任してきた教師がうまく活用できないことが予想される。有効活用に向けた教員研修の実施状況はどうか？

→指導主事 今後の課題の1つは、転任してきた先生方がICT機器をすぐに活用できるような研修体制をどのように作っていくかということである。納入業者などを支援員として活用し、研修体制を整えたい。

〈教育長〉 来年度は、通年の研修に加えて、年度当初に巡回指導などを行い、スムーズな活用に努めたい。

〈町長〉 軽米町立学校は、ICT機器を積極的に活用することを統一して、研修体制を作ってもらいたい。

→指導主事 ICT支援員の活用に加えて、校内研修等も充実させながら活用支

援を進めて参りたい。

〈委員〉 ICT機器の活用を進める中で、現場の先生方の意見はどうか？

→指導主事 研修会に参加された先生方からは、実際に使ってみると簡単な操作で使用できるとの反応であった。

授業单元の中で利用するまでになるには、それなりの時間はかかるが、今後研修等の積み重ねの中で、授業への活用がさらに進んでいくものと思う。

〈委員〉 教育ソフトを活用した指導案の蓄積があれば、教師の得意、不得意による活用のばらつきがなくなるように思う。すべての先生が決まった授業单元では必ず使うというような考え方で進めたほうが良い。使わないよりは使ったほうが良いことは県の教育センターの先生も言っている事なので、組織としても指導事例ではなく指導案としてまとめることが良いと思う。

また、子どもたちから自発的に使いたいというような意見が出されて、先生がそれに呼応して使うというような活発な授業がなされることを期待したい。

→指導主事 先進的に取り組んでいる軽米小学校の活用事例を知りたいという意見が多く、研修会では模擬授業や講義、情報交換を行って授業への活用を進めて行きながら、将来的には各校の実践事例や指導案を共有できる体制を作って行きたい。

〈委員〉 近年、ゲームのやり過ぎなどで子どもたちの目が悪くなっていると聞くが、ICT機器の活用により悪い影響が出るということはないか？

→指導主事 健康面についても留意していく必要がある。授業での活用研究と合わせて、児童生徒のインターネット等の情報メディアとの上手な付き合い方について、教育振興運動ともタイアップして取り組みを進めて行きたい。

〈町長〉 県内では、軽米小学校が先行研究している印象であるが、栃木県佐野市も、ICT機器の活用が進んでいると聞いている。先進地研修等も行って、更に前に進むよう有効活用を進めてもらいたい。

○閉 会